地域の先生方と
高崎総合医療センターを結ぶ

こくたか連携だより

2020年発行
第160号
5月号

栄養サポートチームの活動 …… 2
NST委員会 委員長　消化器内科部長　長沼　篤

薬剤部だより …… 3
薬剤部長　蟻川　勝

病棟紹介
救命救急センター …… 4
救命救急センター看護師長　濱田 美穂

南5階病棟 …… 5
南５階病棟看護師長　近藤　卓

栄養だより …… 6～7
臨床検査科だより …… 8
診療放射線科だより …… 9
相談支援センターのご案内 …… 10
地域医療連携登録医のご紹介 …… 11
セカンドオピニオンのご案内 …… 12～13
外来診療担当表 …… 14～15
院長室だより/行事などのお知らせ …… 16

デルフィニウム
（5月～6月）
‥ 花言葉 ‥
「清明」「高貴」

●地域医療支援病院　●がん診療連携拠点病院
独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター

〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL http://www.tnho.jp/
地域医療支援･連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】
患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】
- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】
人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】
- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

栄養サポートチームの活動

NST 委員会
委員長　長沼　篤

NSTとはNutrition Support Team（栄養サポートチーム）の略であり、1970年に米国のシカゴで生まれたチーム医療です。日本では1998年に三重県の鈴鹿中央総合病院で初めてNSTが導入され、その効果から以後爆発的に全国の病院へと広がりました。2010年には世界に先駆けて「栄養サポートチーム加算」が診療報酬として新設されました。以前の医学部教育では臨床栄養学の講義は非常に少ない状況でしたが、その重要性が臨床現場で認識された結果、現在では医師国家試験の問題としてNSTが出題されるようになりました。

群馬県におけるNSTは、他の都道府県と比べてかなり早い段階で普及しましたが、その功労者は当時前橋赤十字病院に勤務されていた小川哲史先生でした。当院のNSTは、小川先生が当院へ赴任されてから本格的に活動を開始し、今や県内屈指のNSTを有する病院となっています。NSTの主な日常業務は、①NST回診、②コンサルテーション業務、③NST専門療法士習得のための研修、④各種勉強会の開催、⑤研究会及び学会活動が挙げられます。

当院では毎日病棟でのNST回診を行っており、栄養サポートチーム加算の算定件数は県内第一位となっています。特にNST摂食嚥下チーム回診の活動は目覚ましいものがあり、歯科口腔外科の稲川元明先生、木村将典先生による嚥下内視鏡検査（通称VE; video endoscopic evaluation of swallowing）の件数は、年間約1800件と驚異的な数字となっており、これは日本一と推定されます。誤嚥リスクのある入院患者さんの食事を開始する際には、NST摂食嚥下チームからの指示が必要不可欠であり、看護師及び言語聴覚士からの厚い信頼を獲得しています。

学会活動では、日本臨床栄養代謝学会（JSPEN）で毎年数多くの演題を発表しており、最新の栄養サポートについて研鑽を積んでいます。また2019年9月にはNST栄養管理室長である小川祐介さんが、ポーランドで開催された欧州臨床栄養代謝学会（ESPEN）2019 Krakowにおいて、ESPENの栄養教育プログラムである“Life Long Learning (LLL)”の最終試験に合格するという快挙を成し遂げており、国際的にも活躍の場を広げています。

NSTは、各専門職種が持っている豊富な知識と経験を総動員して患者さんの栄養管理を行うシステムであり、当院のチーム医療に欠かせない存在となっています。今後とも当院NSTに御支援をいただけましたら幸いです。

薬剤部だより

この時期に目を引く生薬

薬剤部長　蟻川　勝

新型コロナウイルスの影響で自粛が続いており、多方面に影響が広がり暗いムードが漂っている昨今です。

新型コロナウイルスに関係する情報については公的機関をはじめ、報道機関等から予防対策などが公開されていますので、違う話題にしたいと思います。

この時期には種々の花が咲き、山々が新緑で覆われてくる季節なので、その中から生薬として使われるものについて取り上げてみました。

芍薬

この時期咲く花の1つに芍薬があります。「立てば芍薬、座れば牡丹……」と美人を形容する言葉に使われる花として知られています。

美しい花を咲かせる芍薬はボタン科の植物で、根を乾燥したものは生薬として漢方薬に用いられています。

鎮痛・鎮痙、収斂、緩和作用などの効果があり筋肉の痙攣の緩和や血管の働きを整える作用が期待できるため、筋肉の痙攣を伴う疼痛、慢性の胃炎や神経痛といった症状にも用いられます。他にも女性特有の産前産後の不調や更年期の悩み、冷え症、貧血といった症状を改善する目的で処方されることが多い漢方薬に含まれます。

しかし、漢方薬の原料として国内で生産されている量はわずか4%程度で96%は中国からの輸入となっています(平成20年度　日本漢方生薬製剤協会調べ)。

芍薬を含む漢方薬には次のようなものがあります。

- 連珠飲(れんじゅいん)
- 加味逍遥散(かみしょうようさん)
- 四物湯(しもつとう)
- 桂枝茯苓丸(けいしぶくりょうがん)
- 黄芩湯(おうごんとう)
- 芍薬甘草湯(しゃくやくかんぞうとう)
- 当帰芍薬散(とうきしゃくやくさん)
- 温清飲(うんせいいん)
- 小建中湯(しょうけんちゅうとう)
- 桂枝湯(けいしとう)
- 桂枝加竜骨牡蛎湯(けいしかりゅうこつぼれいとう)

ちなみに、芍薬の花言葉で一般的なのは「はじらい」「はにかみ」「謙遜」などありますが、他に「必ず来る幸せ」という花言葉もあり、特に白とピンクの花はウェディングブーケに使われる人気の花となっています。

竹筎

「たけのこ」はこの時期の旬の食材の代表の一つです。「たけのこ」そのものは生薬としては用いられませんが、「竹」は生薬では「竹筎(ちくじょ)」という名前で漢方薬の原料として使用されています。

竹はイネ科の植物で、竹の青い外皮を十分に削り、内層を帯状ないし糸状にしたものを生薬として用います。

清熱、除煩、涼血、去痰、鎮吐作用があることから、熱による煩悶、不眠、のどの痛み、嘔吐、諸出血、子供の痙攣・ひきつけなどを改善する薬方に含まれています。

また、竹筎を含む漢方薬には次のようなものがあります。

- 温胆湯(うんたんとう)
- 加味温胆湯(かみうんたんとう)
- 竹筎温胆湯(ちくじょうんたんとう)
- 清肺湯(せいはいとう)

病棟紹介
救命救急センター

救命救急センター看護師長　濱田 美穂

当院は、年間約１万2,000人の救急患者さんを24時間受け入れています。そのうち、約1,700人の患者さんが救命救急センターに入院されています。入院患者さんの多くは、重症な脳血管障害、呼吸不全、意識障害、外傷、病院外心肺停止など、意識や呼吸、循環が障害された生命の危機状態にある、専門性の高い医療・看護を必要とする患者さんです。当院は三次救急医療病院であり、近隣の病院では対応できない、高度な救急医療を救急科医師５名、看護師約60名で診療できる体制が整備されています。

当院の救命救急センターの看護師は、主に３つの役割を担っています。１つ目は、救急外来業務です。当院の救急外来は、歩いて来院できる軽症患者さんから、心肺機能が停止している重症患者さんまで、ありとあらゆる症状の患者さんが来院します。救急外来看護師は、初期診療の補助が主な業務であり、医師の処置を予測して行動する力が必要となるため、多くの知識と経験が必要となります。

２つ目は、救命救急センター業務です。看護師長を中心に、30床のベッドを効率よくコントロールすることにより常に空床を確保して、救急車を断ることがないようにしています。救命救急センターとは、救急外来で救命治療を終えた患者さんの根本治療が開始となる場であり、多くの薬剤管理、医療機器の管理、処置の介助など医療行為が多い特徴があります。状態が不安定な患者さんも多く、重症患者さんを看護するための高度な知識と、迅速な判断能力が求められます。救急看護認定看護師や、様々な研修コースのインストラクターの資格を持つ者が中心となり、スタッフ教育に力を入れています。在院日数が平均6.5日と短期間ではありますが、患者さん、ご家族の様々な不安に寄り添い、思いを最大限取り入れられるように看護計画を立案し、異常の早期発見、早期退院を目指して看護をしています。

３つ目は、ドクターカー業務です。当院では2013年９月９日より、高崎ドクターカーが稼働開始となりました。高崎広域消防と協働して、当院の救急車（ドクターカー）で救急現場に医師・看護師を派遣し、病院前診療を開始することで1人でも多くの命を救うことを使命に尽力しています。

当院救命救急センターは地域に開かれた救命救急センターを目指しているため、スタッフ一人一人が強い使命感を持ち、皆さまが安心して生活ができる地域医療に貢献したいと考えています。

病棟紹介
南5階病棟

南５階病棟看護師長　近藤　卓

本年３月末の新棟開設に伴い、心臓血管内科・心臓血管外科病棟の47床となり、「新生南５階病棟」として新たなスタートを切りました。新築の香り漂う中、４月には新人看護師５名を病棟に迎え入れ、スタッフ一同心を新たに日々の看護にあたっています。

入院患者さんの多くは狭心症や心筋梗塞です。他は心房細動・心房粗動等の頻脈・徐脈性の不整脈疾患、心臓にある弁の異常による各種弁疾患、そして心不全が主となります。大動脈瘤や動脈解離等に対する血管再建術や弁置換術など外科的治療の患者さんも入院されています。心血管疾患は突如発生することや悪化することも多く、時には命を脅かすこともあり、沢山の不安を抱え入院される患者さんやご家族もいらっしゃいます。

様々な側面をお持ちの患者さんやご家族を専門的かつ包括的に看護するために、当病棟では「心臓カテーテル検査治療チーム」と「心不全チーム」に分かれ、各種心血管疾患に対応しています。

心カテチーム検査治療チームでは、毎月100件を超える心臓カテーテル関連検査と治療（冠動脈造影・経皮的冠動脈形成術・経皮的心筋焼灼術等）の看護を行っています。安心して検査等を受けていただける様に、患者サポートセンターと連携した入院前説明を行うことで、入院時の不安や不明な点の解消に努めています。検査治療後は異常の早期発見や合併症の予防を行い、予定通りに退院できるように介入しています。

心不全チームでは、点滴や内服等の治療管理に始まり、リハビリ介入や再発防止に向けた日常生活指導等を行っています。食事・服薬・喫煙指導に目が向きがちですが、心不全を悪化させる要因である感染予防・排泄・睡眠・運動・ストレス等と指導内容は多岐に渡ります。最近では、心不全緩和ケアが注目されており、当病棟でも医師を中心に院内の緩和ケアチームと連携し、心疾患領域の各病期における苦痛緩和に取り組んでいます。心臓血管外科の術後の集中管理を終えた患者の看護では、早期社会復帰に向けた支援を行っています。

超高齢社会における「心不全患者の急増」が懸念されています。心不全を繰り返さず、１日でも長く在宅療養できるように、他職種や地域の皆様と連携した支援に取り組んでいきます。

治療経過での心臓の変化や心電図変化の先にある、「心の変化」に寄り添えるハートフルな看護ケアをモットーにこれからも精進して参ります。

栄養だより　ビタミンDと日光浴について

今回はビタミンDと日光浴のお話です。
ビタミンDは日光浴（紫外線）によって皮膚でも合成されます。

人の皮膚は太陽からの紫外線を浴びることでビタミンD（V.D）の合成が可能です。V.Dの主な役割は腸管からのカルシウムの吸収を促進し、骨を石灰化することです（骨量の維持に不可欠）。逆にV.Dが不足すると骨からカルシウムが失われ骨が脆くなり、骨折しやすくなります。また最近の研究で、V.Dは筋肉の増強や維持にも関与していることがわかってきました。最新2020年版の日本人の食事摂取基準においてもV.Dの必要量を賄うために「適度な日光浴をすること」が奨められています。

ではどのくらいの時間、日光浴をしたら良いのでしょうか？ これは地域（緯度）や季節、人種などで異なるとされています。以前に日本で行われた研究の結果では、体内で必要とするV.D（5.5μg：2015年版食事摂取基準の目標量）を生成するのに必要な日照時間の推定（分/日）は以下の表1のとおりでした。高崎市と最も緯度が近似している「つくば市」を参考にすると紫外線量の少ない冬季で22.4分、紫外線量の多い夏季で3.5分です。2020年版のV.Dの摂取目安量は、転倒や骨折予防の観点から「8.5μg/日」に増加されました。これをもとに推計すると、高崎市近辺では**冬季で約30～40分、夏季で５～６分の日光浴が必要**だと考えられます。さらに高齢者は皮膚のV.D合成量が低下しているため、日光浴時間はもう少し延長する方が良いようです。

表1）体内で必要とするビタミンD生成(5.5μg）に要する日照時間の推定

	7月（正午）	12月（正午）
那　覇　市	2.9分/日	7.5分/日
つくば市	3.5分/日	22.4分/日
札　幌　市	4.6分/日	76.4分/日

※上記は両手・顔を晴天日の太陽光に露出したと仮定した場合
※緯度：茨城県つくば市（36.0度）と群馬県高崎市（36.3度）は近似

引用文献　一部改変
Miyauchi, M., C. Hirai, and H. Nakajima, The solar exposure time required for vitamin D_3 synthesis in the human body estimated by numerical simulation and observation in Japan, Journal of Nutritional Science and Vitaminology, 59, 257-263, 2013.

巣ごもり生活中も意識しよう

V.Dは食品からの摂取も可能です。特に魚類全般に多く含まれます。1日1回、およそ100g程度（図１）食べれば十分量が摂取可能となります。あるいはきのこ類も比較的多く含まれています。V.Dは油と一緒に腸管から吸収されるので、油脂を使用した料理や、食材などと食べ合わせることで、吸収効率がUPします。

図1）主な食品のV.D含有量

鮭

（1切れ：約80g）
25.6μg

さんま

（1尾：約100g）
19.0μg

ぶり

（大きめ1切れ：約100g）
8.0μg

しめじ

（100g）
0.6μg

干しいたけ

（2個：6g）
0.8μg

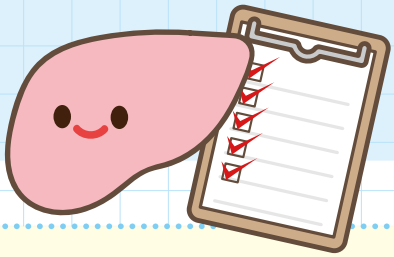
V.Dは骨や筋肉の維持に欠かせない、健康長寿に関わる重要な栄養素の1つです。自宅で過ごす機会が多くなりがちの方は（巣ごもり生活）、日光浴を意識してはいかがでしょうか？

臨床検査科だより

Vol.44

肝機能検査
～AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GT～

肝臓は栄養素を貯蔵し、様々な栄養素を合成するほか、有害物質を解毒するなど多くの働きを行っています。そのような肝臓が炎症を起こすと、肝臓に多く含まれる酵素であるASTやALT、γ-GTが組織から漏れ出し血中の値が高くなります。いずれも障害の程度により血液中の値も高くなるため肝機能の診断において重要な検査となります。



◆ AST（GOT）と ALT（GPT）

AST は肝臓以外にも心臓や筋肉など幅広い臓器、組織に分布しています。一方 ALT は肝臓に特異的に分布しています。そのため AST が ALT に比べ著しく高値となった場合は心筋梗塞など肝臓以外の疾患を疑います。AST と ALT が同程度の上昇した場合は肝臓の疾患を疑います。また、いずれも成人より小児で高値となり、年齢とともに低下して思春期ごろに成人と同じ値となります。

表：AST と ALT の基準値と異常値から考えられる疾患

	AST（肝臓、心臓、筋肉などに分布）	ALT（肝臓に特異的に分布）
基準値	13 ～ 30U/L	男性：10 ～ 42U/L 女性：7 ～ 23U/L
軽度異常から中等度異常（500U/L 未満）	慢性肝炎、急性アルコール性肝炎、薬物性肝障害、脂肪肝、閉塞性黄疸、肝硬変、原発性胆汁性肝硬変、甲状腺機能亢進症、心筋梗塞、溶血性疾患	慢性肝炎、急性アルコール性肝炎、薬物性肝障害、脂肪肝、閉塞性黄疸、肝硬変、原発性胆汁性肝硬変、甲状腺機能亢進症
高度異常（500U/L 以上）	急性肝炎初期、劇症肝炎、慢性肝炎の急性憎悪、急性アルコール性肝炎、薬物性肝障害、心筋梗塞	急性肝炎初期、劇症肝炎、慢性肝炎の急性憎悪、急性アルコール性肝炎、薬物性肝障害

※ AST は血清よりも赤血球内に多く含まれるため、採血の際に血球が壊れて溶血してしまうと本来の値より高くなり、正しく測定することができなくなるため注意が必要です。

◆ γ-GT とは

γ-GT は肝臓や腎臓、膵臓などに存在する酵素で、血清に含まれるγ-GT は肝臓由来です。その変動は肝・胆道疾患に特異性が高く、特にアルコール性肝障害で上昇しやすい酵素です。AST、ALT と同様に肝臓に障害が起こったり肝・胆道系に閉塞があると血液中に流れ出てきます。アルコールに敏感に反応するため普段から飲酒していると肝障害が起こっていなくても上昇してしまいます。また、アルコール以外にも睡眠薬や向精神薬、健康食品の摂取によってγ-GT が上昇することもあります。

肝臓は沈黙の臓器と呼ばれ、症状が少なく気が付いた時には症状が進行していることがあります。そのため今回紹介したような血液検査で早期に発見することが重要であると考えます。

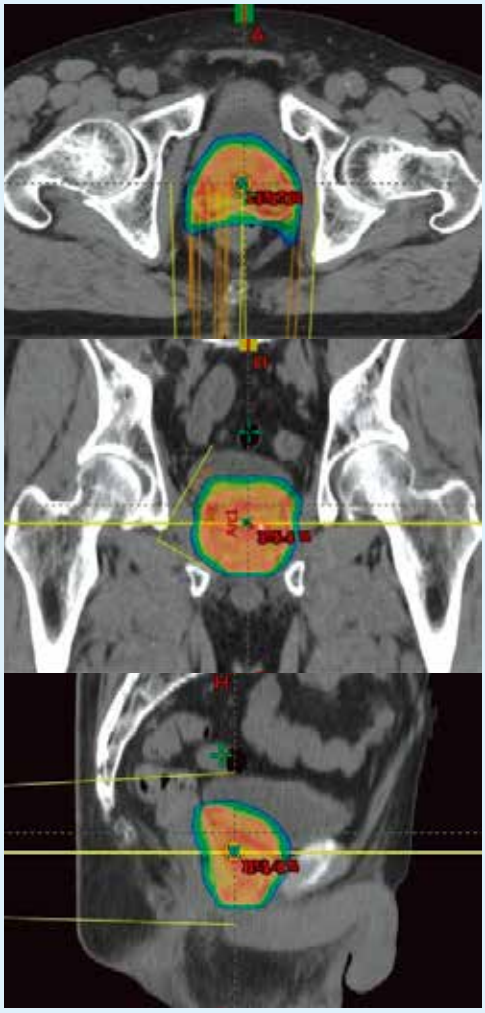
次回も引き続き肝機能検査のひとつであるＬＤとＡＬＰについて説明します。

放射線治療センターより
前立腺IMRT(VMAT)のご紹介

当放射線治療センターでは前立腺がんの放射線治療に強度変調回転放射線治療VMAT（Volumetric Modulated Arc therapy）で治療計画を立てています。そのため短時間で副作用の少ない、個々の形状にピッタリ合わせた放射線治療が可能です。リスク臓器である直腸や膀胱を避け、かつ隣接の前立腺へ処方線量が入るように計画します。

また日々の治療では、そのピンポイントな治療計画を正しく実施するために６軸寝台補正システム（Exactrac）とConeBeamCT（CBCT）を用い高精度な画像誘導放射線治療（IGRT）を行っています。

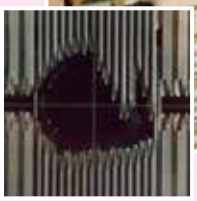
もちろん、高精度を担保する品質管理も毎日欠かすことなく行っています！



御紹介の場合は、当院の地域医療支援・連携センターを通じて受診日を決めてください。受診にあたっては、主治医からの紹介状、画像診断や病理診断の資料をお持ちいただけると助かります。

2方向のX線骨画像と計画CTより再構成したDRR画像を骨照合可能なExactracと、治療装置CBCTを有し、その精度は±1mm以内を担保しています。

装置全景



MLC

相談支援センターのご案内

2020年3月の別館の完成に伴い、相談支援センター（相談窓口、がん相談支援センター）を、別館1階の「患者サポートセンター（15番）」内に移転しました。

相談支援センターでは、入院・外来を問わず、患者さんやご家族の心配事・お困りごとについて、専門の相談員（看護師、ソーシャルワーカー）がお話を伺い、支援させていただきます。お気軽にご相談ください。

相 談 窓 口

例えばこんなとき

- ○診療や看護に関すること
- ○退院に関すること
- ○医療安全に関すること
- ○医療費や支払いに関すること
- ○接遇に関すること　　など

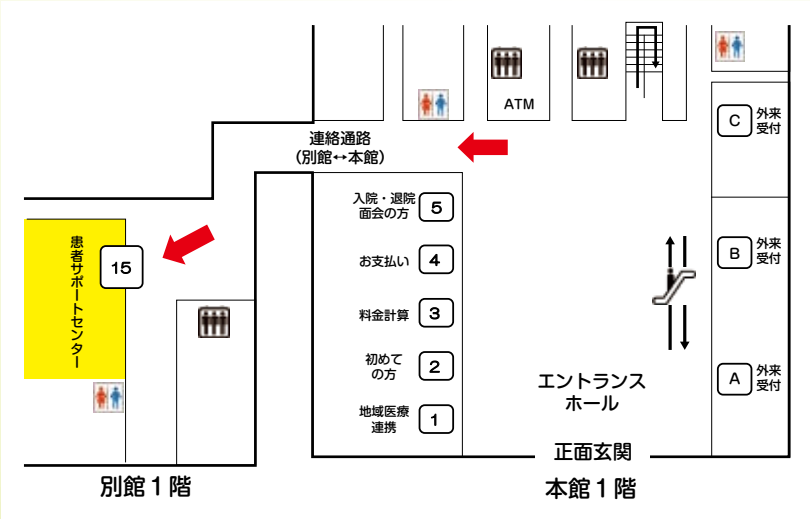
別館1階、患者サポートセンター（15番）
受付時間　　平日 8：30 ～ 17：15

がん相談支援センター

例えばこんなとき

- ○今後の検査や治療のことが不安
- ○介護保険など在宅ケアに関することを相談したい
- ○セカンドオピニオンについて相談したい
- ○緩和ケアに関する情報を知りたい
- ○仕事はどうしたら良いか　　など

電話相談の場合、「がん相談希望」とお伝えください。
027-322-5017（がん相談直通電話）



地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

内科・循環器内科 佐々木医院

佐々木医院
院長
佐々木 豊志

院長あいさつ

令和２年４月より石澤医院より医院名が変更となりました。高崎総合医療センターや地域の医療施設と連携を密にして患者さん中心の診療を行います。

診療科・病院案内

内科・循環器内科

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:20～11:30)	●	●	●	●	●	●	／
午後(3:15～5:45)	●	●	●	／	●	／	／

※土曜日は第3のみ休診

群馬県高崎市昭和町2　TEL:027-327-1911

高血圧や狭心症、不整脈などの循環器疾患の診療が専門ですが、生活習慣病やその他の内科疾患にも対応いたします。

高崎タワークリニック 眼科・泌尿器科

高崎タワークリニック
院長
齋藤 勇祐

院長あいさつ

当院は 2020 年４月１日、高崎駅東口に新規開設いたしました。当院は地域に根ざし、安心してかかっていただけるクリニックを目指してまいります。

診療科・病院案内

眼科・泌尿器科

＊眼科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:00～13:00)	●	●	●	／	●	●14時まで	／
午後(4:00～6:30)	●	●	●	／	●	／	／

＊泌尿器科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00～13:00)	●	●	●	／	●	●14時まで	／
午後(4:00～5:30)	●	●	●	／	●	／	／

休診日：木、日、祝、第3土曜日

群馬県高崎市東町32-1 ブリリアタワー高崎2F　TEL:027-384-8241

当院では一般眼科診療/泌尿器科診療から学校検診、企業検診のご相談、膀胱内視鏡検査、予防接種、眼科各種レーザー治療を行っております。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を
実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 原則として主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者がご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、小児科、外科
乳腺･内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科
泌尿器科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科

予約方法

完全予約制　代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】　月曜～金曜　８時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜　８時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し当センターより連絡させて頂きます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜　13時30分から15時30分の間で調整

費　用

30分以内　5,500円(消費税込み)
30分以上 11,000円(消費税込み)

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。
医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。
その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。
当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科　名	医師名	専　門	曜　日
内科	佐藤　正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田　逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼吸器内科	中川　純一	呼吸器全般	
消化器内科	長沼　篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田　智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井　知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田　昌樹	不整脈一般	水
小児科	五十嵐　恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	小川　哲史	消化器外科全般、特に悪性腫瘍の手術	木
	坂元　一郎	消化器外科全般	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵　幸生	乳癌全般・甲状腺外科	第1·3·5週 金(午前)
心臓血管外科	小谷野　哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部　崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂　貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	栗原　秀行	脳・脊髄腫瘍、脳神経外科全般	火
	笹口　修男	脳血管障害	木
産婦人科	伊藤　郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	井上　雅晴	泌尿器科全般	火
眼科	土屋　明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸　幾	画像診断ＣＴ·ＭＲ中心	木
	佐藤　洋一	画像診断ＣＴ·ＭＲ中心	火
放射線治療科	永島　潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川　元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	薬師寺　孝	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤正通 飯塚　尭	佐藤正通（連携・新患のみ） 真下大和	真下大和（当日紹介・新患のみ）	佐藤正通 （合田　史）（午後：予約専門外来） 飯塚　尭	佐藤正通 真下大和
栄養食事指導外来		佐藤正通（午後）			
内分泌代謝内科	渋沢信行	（小澤厚志）	武藤壮平 （道又敏夫）	渋沢信行（午後）	武藤壮平
神経内科	（池田雅美）	古田夏海	佐藤正行	古田夏海 清水千聖（午後）	古田夏海（午前）
呼吸器内科	中川純一 （佐藤麻里）（午後）	内田　恵 （申　悠樹）（午前）	増渕裕朗（午前） 板井美紀	中川純一 増渕裕朗	内田　恵 （若松郁生）（午後）
消化器内科	長沼　篤 安岡秀敏 上原早苗（午前） 糸井祐貴（午前）	星野　崇 綿貫雄太（午前） 鈴木悠平	安岡秀敏 増田智之 石原　弘（午後） （蘇原直人）（午前）	長沼　篤 （工藤智洋）（午後） 増田智之 鈴木悠平	星野　崇 綿貫雄太（午前） 柴崎絵理奈（午前） 館山夢生（午前） （岡野祐大）（午後）
内視鏡検査	星野／増田／岡野	安岡／増田	綿貫／上原	綿貫／柴崎／糸井	長沼／鈴木／岡野
心臓血管内科（循環器）	太田昌樹（午前：通常／午後：不整脈外来） 村田智行 伊藤芽以（午前）	小林洋明 高橋伸弥 （金澤紀雄）（再来）	広井知歳 太田昌樹（午後：不整脈外来） 羽鳥直樹（午前）	福田延昭 （金澤紀雄）（再来） 湯浅直紀	小林紘生（午前：通常／午後：不整脈外来） 太田昌樹（第2，4週午後：ペースメーカー外来） 久野貴弘（午前）
新患外来（午前）	高橋伸弥	福田延昭	村田智行	羽鳥直樹	小林洋明
精神科	井田逸朗 関谷　樹（午前）	井田逸朗 関谷　樹（午前）	井田逸朗 関谷　樹（午前）	井田逸朗	井田逸朗 関谷　樹（午前）
小児科	五十嵐恒雄（午前） 内田　亨 須田峻平（午後）	五十嵐恒雄（午後） 倉田加奈子（午前） 齋藤淑人 （神尾綾乃）（第2，4週午後） （西澤拓哉）（第1，3，5週午後）	五十嵐恒雄（午前） 倉田加奈子（午後） 佐藤幸一郎（午後） （滝沢琢己）（第2，4週午後） <乳児健診>（午前）	藤生　徹（午後） 倉田加奈子（午前） 小笠原　聡	五十嵐恒雄（午後） 藤生　徹（午後） 佐藤幸一郎 永井祐介（午前）
小児外科		（西明・高澤慎也）（第2，4週午後）			
外科（消化器）	坂元一郎 田中成岳	小川哲史	榎田泰明 田中　寛	小川哲史 平井圭太郎 小川哲史（小川，祐介（栄養士））	宮前洋平 星野万里江
栄養サポート外来					
ストーマ外来			第2，4週午後・予約	第1，3，5週午後・予約	
泌尿器科	井上雅晴	栗原聰太	（青木雅典）	井上雅晴	栗原聰太

① 外来診療受付時間

8:30～11:00迄（予約の場合は最終予約時間まで）

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない場合、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。

② 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。

地域医療支援・連携センターから地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、地域医療支援・連携センターを通した事前予約にご協力下さい。

（　　）の医師は非常勤です。

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前	鯉淵幸生	鯉淵幸生	（荻野美里） 第2，4週午後	鯉淵幸生 第2，4週
	徳田尚子 午前	髙他大輔 午前	髙他大輔	（中澤祐子） 第1，3，5週午後	髙他大輔 午前
		徳田尚子	徳田尚子	交代制 午前・予約	徳田尚子 第1，3，5週午前
心臓血管外科	＜手術日＞	小谷野哲也 午後	＜手術日＞	小谷野哲也	茂原　淳
呼吸器外科	＜手術日＞	伊部崇司	＜手術日＞	伊部崇司	＜手術日＞
		高坂貴行		高坂貴行	
整形外科	新井　厚	大澤敏久	荒　毅	新井　厚	大澤敏久
	荒　毅	齋藤健一	信太晃祐	角田大介	齋藤健一
	信太晃祐	角田大介	一ノ瀬　剛	＜手術日＞	一ノ瀬　剛
形成外科	（古賀康史） 午後			（古賀康史） 午後	（田村健・竹内誠也） 午後・交代制
				（牧口貴哉） 第1週	
				（山津幸恵） 第3週	
				（中村英玄） 第2、4、5週	
脳神経外科	和田　元	栗原秀行 午前	＜手術日＞	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科		（井上千鶴） 紹介・予約			（内山明彦） 紹介・予約
産婦人科	伊藤郁朗	青木　宏	根井ひとみ 午前	満下淳地	伊藤郁朗 第2週は紹介・予約
	満下淳地 午前	西村俊夫	（小暮佳代子） 午前	（金井眞理）	青木　宏
	永井あや	黒住末央		（森田晶人）	永井あや
	西村俊夫 午後				
眼科	土屋　明 紹介・予約	土屋　明	土屋　明	土屋　明	土屋　明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 ＜手術日＞	笠井健一郎 ＜手術日＞	笠井健一郎	笠井健一郎 ＜手術日＞	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌		＜手術日＞	高橋克昌	高橋克昌
放射線治療科	永島　潤 紹介・予約	永島　潤 紹介・予約	永島　潤 紹介・予約	永島　潤 紹介・予約	永島　潤 紹介・予約
	大高　建 紹介・予約	大高　建 紹介・予約	大高　建 紹介・予約	大高　建 紹介・予約	大高　建 紹介・予約
歯科口腔外科	柴野正康 紹介・予約	＜手術日＞	前山恵里 紹介・予約	薬師寺　孝 紹介・予約	＜手術日＞
歯科（歯科麻酔）摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1，3，5週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約
	木村将典 紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約	木村将典 紹介・予約	木村将典 紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約
	倉持真理子 紹介・予約	（荒井亮・辻野啓一郎） 第2，4週のみ、紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約		

（令和２年5月1日現在）

③ 予約について（医療機関からの紹介患者事前予約）

消化器内科、産婦人科、形成外科、眼形成眼窩外科、整形外科、神経内科、放射線治療科、歯科口腔外科、歯科(歯科麻酔)、呼吸器内科、耳鼻いんこう科は紹介事前予約制となります

- 分娩希望についてはこの限りではありません。
- 精神科も完全予約制となりますが、通常の予約方法と異なります。地域医療支援・連携センターにお尋ねください。

FAXの予約対応を平日は18:30まで行っています

- FAXは24時間受け付けています。

土曜日も予約受付を行っています（8:30－17:15）

④ 連絡先

高崎総合医療センター内 **地域医療支援・連携センター**

医療機関専用ダイヤル：027-322-5835　FAX：027-322-5925

COLUMN

院長室だより

vol.58

一休

一休、名は宗純、または狂雲子などと号し、みずから大燈五世と称した禅僧が、室町時代に生きていました。その一休宗純（1394-1481）には三つの著しく異なる像があります。

その第一は頓知の一休であり、徳川時代以降広く大衆の間に知られるようになり、型破りの行動をし、窮地を脱したり、他人の急場を救ったりしました。しかし徳川時代の作り出した一休は、室町時代の一休について、ほとんど何らの情報も私達に提供しません。

第二の一休は頓知どころか生真面目でいくらか退屈な高僧である。彼はもはや頓知の人ではなく悟道の人であり、すべての欲望に超越した高僧です。

第三の一休は、「狂雲集」の詩人であり、破戒僧一休は、そこに現れる。「エロティック」な詩を作るばかりでなく、自己の禅的経験を語り、高度に抽象的な仏教形而上学を展開すると共に、当時の禅宗寺院の風俗を激しく批判し、ことに同門の兄弟子養叟とその一派に対しては、罵倒の限りを尽す。性的表現においてこれほど直接な詩は他になく、悟道の自信においてこれほど圧倒的な表現は他になく、怒りと憎しみの言葉のこれほど痛烈で極端な例も他にないだろうと思われます。

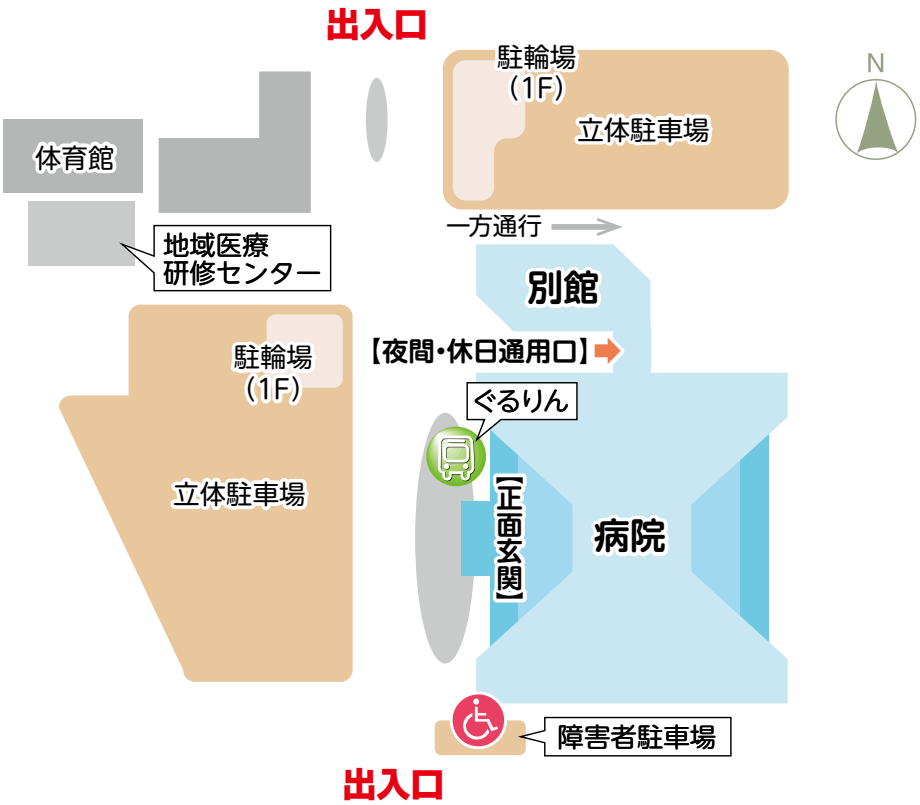
一休の生きた時代は、権力闘争と内乱、飢饉と伝染病の流行、内乱は全国的な規模になり、彼は大徳寺の住職でありながら、京都を逃れて、薪村の酬恩庵に住しました。そこで盲目の森待者を愛し、沢山の詩を作りました。一休は女を愛することができ、世の中の何ものよりも女を大切だと感じ、女との短い時間が日常生活の何年にも値すると感じたことがあるに違いない。哲学者ならば「他者へ向かっての私の私からの脱出」の経験になる。「秋風一夜百千年」という一行は、愛する女との一夜に永遠を生きたということでしょう。

生きづらい世の中の生活の中に、静かな時間があり、身辺の光景、日常の小さな事、路に咲いている花、青空に浮かぶ雲に限りない愛着を感じることがある。

一休は死に対しては（同時に永遠に対しては）「劫空久遠在吟時」といい、自分自身の意味を問い、しかし、誰よりも確乎として、愛や憎しみや詩情を人生の他のすべての関心に優先させようと決心していた。その決心がその決心だけが、どの一人の人間にも潜在する可能性について、一休宗純が示してくれているのかも知れません。

病院長　石原　弘

高崎総合医療センター案内図



出入りについて

平日7時～18時は
正面玄関を
ご利用ください。

平日18時～翌7時、
土日祝日は
夜間・休日通用口を
ご利用ください。

編集室より

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。
電 話 027-322-5835（医療機関専用ダイヤル）

独立行政法人・国立病院機構
高崎総合医療センター

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます　http://www.tnho.jp/kouhoubackno　検索